

平成25年1月9日開催教育委員会会議記録

1 開会・閉会等について

日時	平成25年1月9日(水) 午後2時00分
場所	教育委員会室
開会	午後2時00分
閉会	午後2時35分
出席委員	
委員長	横井利男
委員	雁部隆治
委員	鈴木みゆき
委員	阿部博道
教育長	横山信雄
説明のために出席した職員	
教育委員会事務局次長	小暮真人
庶務課長	岩佐一郎
学務課長	齋藤好正
指導室長	橋爪昭男
すみだ教育研究所長	渡部和美
生涯学習課長	金子しのぶ
スポーツ振興課長	中山賢治
あずま図書館長	村田里美

2 会議の概要

- **横井委員長** それでは教育委員会を始めたいと思います。本日の会議録署名人は雁部委員にお願いいたします。

(平成24年11月7日、11月15日教育委員会会議録確認)

報告事項第1

「通学路緊急合同点検状況について」、資料1のとおり庶務課長が説明する。

- **横井委員長** 何かご質問はございませんか。
- **教育長** 未定が2件となっていますが、内容を見ると外出小学校の信号設置が未定になっているの

で、これを入れると3件になるのではないのでしょうか。

- **庶務課主査** 外出小学校の信号設置は25年度に設置される可能性がありますので、まったく未定ということではないです。
- **庶務課長** 未定ではないので、予定に訂正します。

報告事項第2

「平成24年度重要事業の進行状況について」、資料2のとおり庶務課長、あずま図書館長が説明する。

- **横井委員長** 何かご質問はございませんか。それでは、報告承りました。

報告事項第3

「すみだ生涯学習センターにおけるインターネット抽選（機械抽選）システムの導入について」生涯学習課長が説明する。

- **横井委員長** 何かご質問はございませんか。
- **横井委員長** 他によろしいでしょうか。以上で予定の議決事項、報告事項は終了しました。その他に何かございますでしょうか。

その他

「特集展示すみだの名所について」「子育て通信（冬季号）について」「第21回わんぱく雪まつりについて」生涯学習課長が説明する。

- **横井委員長** 私はこの間、すみだ郷土資料館に行ってきましたが、大変面白かったです。せっかく七福神巡りがあるので、積極的に誘導する何かがあれば良いかなと思います。よく見ると掲示板などに貼ってあることもあります。
- **生涯学習課長** 昨年からすみだ郷土資料館は1月3日から開館するようになり、三囲神社でも七福神巡りの人々にチラシを配布してPRを行っています。
- **横井委員長** 私はこの橋の展示もおもしろく見てきました。もったいないと思います。何かうまく周知ができたらと思います。
- **生涯学習課** PRを強化していきたいと思います。
- **横井委員長** 他に委員さんから何かありますか。
- **鈴木委員** 墨田区立立花幼稚園が、ソニー教育財団で、最優秀賞をとりました。この賞は全国で二つしかとれない賞なので、すばらしいことだと思いました。幼児教育に熱心な財団で、最近は特に科学的なことを重視しています。立花幼稚園では、あげは蝶の幼虫を育てて賞をとりました。都会の中でこのような科学的な芽を育てたことはすごいなと思います。6月8日に公開保育を実践します。全国から、300~400人の方が見えるので、墨田区としても、大々的にPRをしたら良いのではないのでしょうか。
- **横井委員長** ソニー教育財団は民間の団体ですが、教育界では非常に権威のある良い団体ですので、すばらしい賞です。私も何度か応募をしたのですが、なかなか最優秀賞をとることは難しいです。すばらしいことです。おめでとうございます。
- **雁部委員** 最近話題になっている食物アレルギーのことですが、墨田区の学校では、食物アレルギー

一の子どもが何人いるか把握していますか。

- **学務課長** 今、手元に資料がないのですが、私たちも非常に重要視していきまして、今日、教育長名で食物アレルギーの対応の指導をし、先日は私の名前でも各学校長宛てに通知を出させていただきました。基本的に食物アレルギーをお持ちのお子さんの様子は校長先生を通じ保護者の方からお話を聞き、担任、栄養士、養護教諭と情報を共有しています。調理をするのは、委託業者ですが、委託業者にも情報は提供させていただいています。最終的に給食を確認するのは、担任になりますので、ここでもう一度チェックをし、給食を提供する仕組みを取らせていただいています。これからも、注意深く様子をみながら、環境を整えていきたいと思っています。
- **鈴木委員** このことは個人要録で、入学するとき登録していますよね。
- **雁部委員** ニュースを見て思ったのですが、食器が同じものを使っているの、見た目では区別ができない状態です。たとえば、食器を変えるなどの工夫をしたほうが良いと思います。今回の事件は担任の先生の見落としが原因ですが、人間なので間違いは起こり得ると思います。間違えない工夫が必要です。
- **学務課長** 小学校のアレルギー対応のマニュアルを作っています。栄養士が、アレルギーの食品をチェックをし、献立表を各家庭に配らせていただいています。また、アレルギー児童各自のアレルゲン表を給食室に掲げております。個人ごとのお皿に個人名と食品名を明記しています。その際、一人でチェックをするのではなく、担当職員全員でチェックをさせていただいています。最終チェックはチーフが確認し、そのあと、もう一度担任が確認しています。今おっしゃられた工夫も重要だと思いますので、もう一度また検討させていただきます。
- **横井委員長** 今回のことは、我々はニュースでしかわかりませんが、担任の先生が勘違いをしておかわりを配ったということですね。
- **雁部委員** 見た目でははっきりとわからないようですね。間違えないような工夫が必要です。
- **学務課長** 今回のケースは女子児童がチーズを抜いたチヂミのおかわりを要望し、担任が誤って通常のチーズ入りのチヂミを渡してしまったとのこと。おかわりできないものについては×印がついていたけれどもそれを見落とししてしまったと聞いています。
- **雁部委員** 印の見落としということですね。印を見なくても食器の色を変えてしまえばひとめでわかりますね。細かいところで気がつくようにしないと、これからもいろいろなところで同じような間違いが起きてくる可能性があります。
- **学務課長** 栄養士会のなかでも考えさせていただいていますので、このような防止策を含めて検討させていただきたいと思っています。
- **横井委員長** 今回のことは、栄養士というより、担任とシステムの問題ですね。お皿の色を変えることもいい案だと思いますが、子供たちにしてみると、人と違うお皿を使うことで、いじめなどの問題などになるかもしれないという非常に微妙な問題ですので、ぜひいい考えを出していただきたいと思っています。
- **横井委員長** 他によろしいでしょうか。それでは、これで教育委員会を閉会いたします。